

カメラ談義

1. カメラの選び方

カメラを買うとき、写真に興味をもってどんどん写していくのか、あるいは旅行・家族のスナップ等を写していくのか、それによって選び方はちがいます。

まず、写真に興味をもっているという人は、一眼レフの高級機がよいと思います。この場合でも、カメラそのものが好きな人と写すことが好きな人に分けることができます。引伸しをしたい人などは、ぜひ一眼レフの高級機にした方がよいでしょう。カメラボデーは、出来れば同じ機種を2台。それは、交換レンズをつけかえる手間がはぶけること、白黒フィルム・カラーフィルムと別々に入れておけば必要に応じて撮れるためです。交換レンズは、普通3本あれば申し分ありません。足りなければ、必要に応じて買いたしていけばよいわけです。例をあげれば、標準50ミリ、望遠100ミリ、広角28ミリという具合にとりそろえればよいと思います。

次に、家族や旅行の記念写真を写すという人は、3万円前後の距離計連動の35ミリカメラになると思います。今流行のストロボ付カメラ、ポケット110カメラ等、数多くありますが、自分の予算に応じて買えばよいでしょう。

自分のほしいカメラの機種がきまったときは、カメラに詳しい人に相談して、どのカメラ店がよいか、また自分のきめたカメラが適当であるか、聞くのが賢明だと思います。自分でいいと思ったものでも、カメラに詳しい人からみれば好ましくない場合があり、買ってしまってからでは遅すぎるからです。買いなおしたりすると、無駄な出費になってしまいます。

2. 撮影するときの注意

まず、カメラの構え方が重要です。腕をしっかり固定して、カメラぶれを防ぐことが大切です。そして、呼吸をとめてシャッターを押すこと。それにソフトシャッターレリーズ(シャッターボタン)を付けると、多少なりはぶれが防げられると思います。ピント合わせは、自分がこれと思ったところへ合わせるわけですが、それだけに気をとられないで、まわりにどんなものがあるかを見てシャッターを押すことです。そうしないと、足が写っていなかったり、必要

でないものがバックに入っていたりして、見苦しい写真になってしまいます。

絞りですが、絞りは絞りこむほど被写界深度(ピントが合う範囲)が深くなり、開ければ浅くなります。例をあげれば、5~10メートルの所にピントを全部合わせる場合は絞りこむこと、又ある一点だけに合わせたい場合は開ければよい。それとシャッタースピード、ASA感度の関係も考えあわせなくてははいけません。

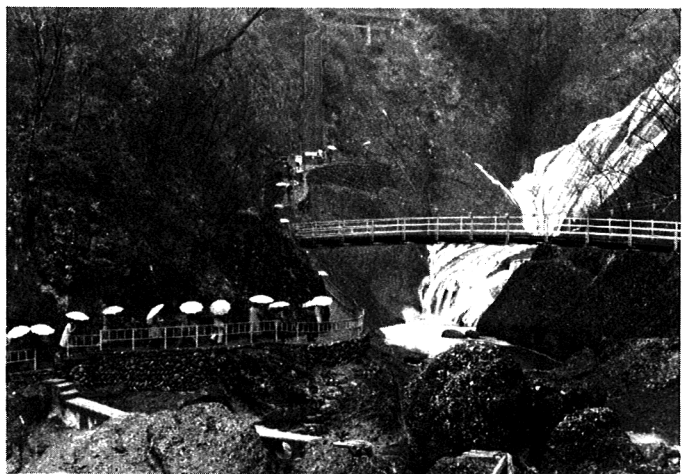
ストロボを使用するとき、オート機構付ストロボが便利です。1~5メートル位の所を写す場合、絞り値を4に、シャッタースピードを1/60にセットしておけば、自動的に光量が調節されます。ストロボ使用時の適正露出は、ガイドナンバー÷発光距離です。 $(\frac{GN}{25} \div M_5 = F_5)$

3. ぼくの写真歴

最初買ったカメラはミノルタSR-T101で、6年位前でした。買ったときは面白半分にはシャッターを切りましたが、なかなかよいものは出来ませんでした。ピントがあまい、手ぶれがしている、ピントが合うところがちがっている等、基本的なところがうまくいきませんでした。幸い、一年前の水戸市展では賞をもらうことができ、これが今までで一番うれしかったことです。現在使用しているカメラの機種は、ニコン4台、ミノルタ1台です。

(添付写真の題名は「雨の日」で、水戸市展入賞作品です。)

(武子孝之)



【新着資料案内】

この資料は、昭和55年3月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 付属庁舎4階 TEL 0292-21-8111(内線426)

| 行政資料名 | 発行所(者) | 行政資料名 | 発行所(者) |
|--------------------|-------------|------------------------|-------------------|
| 中央官公庁関係 | | 昭和53年度版 中小企業施策のあらまし | 中小企業庁 |
| 昭和53年 住宅統計調査報告 | 総 理 府 | 昭和54年版 中小企業白書 | 〃 |
| 総理府統計局刊行資料一覽 | 〃 | 昭和53年 港 湾 統 計 | 運 輸 省 |
| 昭和54年版 交通安全白書 | 〃 | 昭和53年度 関東郵政局統計年報 | 関 東 郵 政 局 |
| 国 際 統 計 案 内 | 〃 | 昭和55年 建設統計要覽 | 建 設 省 |
| 50年国調日本人口地図作成方法の概要 | 〃 | 昭和53年度 公共工事着工統計年度報 | 〃 |
| 昭和50年 産業連関表 一計数編一 | 行 政 管 理 庁 | 昭和53年度 地方公務員給与の実態 | 自 治 省 |
| 昭和54年 防 衛 白 書 | 防 衛 庁 | 昭和54年度 消 防 白 書 | 消 防 庁 |
| 21世紀の国民生活像 | 経 済 企 画 庁 | 茨城県関係 | |
| 昭和53年 国民生活白書 | 〃 | 給与関係コード表 | 電 子 計 算 課 |
| 昭和54年 環 境 白 書 | 環 境 庁 | 昭和54年 茨城県市町村概況 | 地 方 課 |
| 昭和54年 国土利用白書 | 国 土 庁 | 昭和53年 市町村公営財政実態資料 | 〃 |
| 管内経済統計年報 | 大蔵省関東財務局 | 選 挙 の 記 録 | 選 挙 管 理 委 員 会 |
| 昭和53年 民間給与の実態 | 国 税 庁 | 昭和55年度 国の予算編成に対する要望事項 | 企 画 調 整 課 |
| 昭和52年度 地方教育費の調査報告書 | 文 部 省 | 茨城県土地開発事業関係 | 土 地 対 策 課 |
| 日本人の栄養所要量 | 厚 生 省 | 昭和54年度 教育統計報告書 | 統 計 課 |
| 昭和53年 厚 生 白 書 | 〃 | 昭和53年 茨城の工業 | 〃 |
| 昭和53年 社会福祉施設調査報告 | 〃 | 昭和52年度 県 民 所 得 | 〃 |
| 昭和53年 国民生活実態調査報告 | 〃 | 中小企業の賃金事情 | 労 政 課 |
| 昭和52年 農地の移動と転用 | 農 林 水 産 省 | 昭和54年度 県労働組合名簿 | 〃 |
| 昭和53年 水産物流通統計年報 | 〃 | 昭和54年度 県農村青少年クラブ員名簿 | 教 育 普 及 課 |
| 昭和53年 園芸芸農作物統計表 | 関 東 農 政 局 | 昭和53年度 業 務 年 報 | 農 業 試 験 場 |
| 昭和54年 関 東 の 野 菜 | 〃 | 県農業試験場研究報告 第19号 | 〃 |
| ひょう 害 | 〃 | 県農業試験場特別研究報告 第4号 | 〃 |
| 昭和54年度 関東の畜産統計 | 〃 | 県 蚕 業 試 験 場 報 告 第 33 号 | 蚕 業 試 験 場 |
| 昭和53年度 漁 業 白 書 | 農 林 統 計 協 会 | 昭和53年度 県 蚕 業 試 験 場 年 報 | 〃 |
| 昭和53年度 農 業 白 書 | 〃 | 県内市町村関係 | |
| 昭和53年度 林 業 白 書 | 林 野 庁 | 住居表示新旧対照表 第17次施行地区 | 日 立 市 |
| 昭和53年度 鉱工業生産動向 | 通 商 産 業 省 | 下 妻 市 史 | 下 妻 市 史 編 纂 委 員 会 |
| 1977年版 余暇ハンドブック | 〃 | 1980 伊奈村勢要覽 | 伊 奈 村 |
| 昭和53年度 産業構造の長期ビジョン | 〃 | 都道府県関係 | |
| 機 情 法 の 解 説 | 〃 | 昭和54年 学校基本調査の結果報告書 | 北 海 道 調 査 統 計 課 |
| 昭和54年版 通商産業六法 | 〃 | 昭和52・53年 青森県統計年鑑 | 青 森 県 統 計 課 |
| 昭和53年 資 源 統 計 年 報 | 〃 | 昭和53年 宮城の雇用・賃金 | 宮 城 県 統 計 課 |
| 昭和53年 鉄 鋼 統 計 年 報 | 〃 | 昭和52年 宮城県統計年鑑 | 〃 |
| 79年版 原子力発電便覧 | 〃 | | |
| 昭和53年度 鉱 業 便 覧 | 〃 | | |

【新着資料案内】

| 行政資料名 | 発行所(者) | 行政資料名 | 発行所(者) |
|-----------------------|----------|---------------------------|---------------------------|
| 昭和53年 栃木県の工業 | 栃木県統計課 | 昭和53年度 税務統計書 | 福岡県税務課 |
| 昭和52年度 県民所得推計報告書 | 群馬県統計課 | 昭和52年度 県民所得推計結果報告書 | 佐賀県統計調査課 |
| 昭和52年度 県民所得 | 埼玉県統計課 | 1979 熊本県のすがた | 熊本県統計課 |
| 千葉県の人と世帯(半年報) | 千葉県統計課 | 昭和52年度 大分県の県民所得 | 大分県統計課 |
| 第6次 漁業センサス結果概要 | 〃 | 第96回 宮崎県統計年鑑 | 宮崎県統計課 |
| 昭和52年度 県民所得統計 | 〃 | 昭和52年度 市町村民所得 | 〃 |
| 昭和53年 農業基本調査の結果概要 | 〃 | 昭和54年度 沖縄県勢要図 | 沖縄県統計課 |
| 昭和53年 東京都住民基本台帳人口移動報告 | 東京都統計部 | 公社・会社・団体等関係 | |
| 昭和53年 都民のくらしむき | 〃 | 茨城県の地盤沈下(第1報) | 県地盤沈下対策専門委員会 |
| 東京都世帯階層別生計調査年報 | 〃 | 1980 時事年鑑 | 時事通信社 |
| 東京都世帯階層別生計費指数報告 | 〃 | 第8回 水戸市通行量調査報告書 | 水戸市・水戸商工会議所 常陽産業開発センター |
| 昭和54年 学校基本調査報告 | 〃 | 鉄鋼地域別受注統計表 昭和54年度上期 | 鉄鋼,用途別,統計 委員会 |
| 昭和53年 工業統計調査結果報告 | 神奈川県統計課 | 産業連関分析入門 | 日本経済新聞社 |
| 昭和52年度 県民所得推計報告書 | 〃 | 経済新語辞典 | 〃 |
| 県経済の構造 | 新潟県統計課 | 1979 海外市場白書 | 日本貿易振興会 |
| 昭和54年度 学校統計の概況 | 富山県統計調査課 | 統計グラフの見方使い方 | 上田尚一 |
| 昭和52年度 県民所得統計 | 福井県統計課 | 茨城県医事史 明治前期編 | 石島弘 |
| 昭和52年度 静岡県の県民所得 | 静岡県統計課 | 1979 コンピュータ白書 | 日本情報処理開発 協会 |
| 昭和53年度 京都府の工業 | 京都府統計課 | 1979 図書館に備えてほしい新 刊図書目録 | 日本図書館協会 |
| 昭和53年度 鳥取県の人口 | 鳥取県統計課 | 昭和55年版 茨城県会社要覧 | 常陽産業開発センター |
| 昭和52年度 鳥取県県民所得推計報告書 | 〃 | | |
| 昭和53年 工業統計調査結果報告書 | 島根県統計課 | | |
| 昭和53年 山口県の工業 | 山口県統計課 | | |
| 昭和53年 香川県の工業 | 香川県統計課 | | |



▶ 編集子より 新年度をむかえ、『統計いばらき』も装いが新たになりました。

まず、表紙は、皆さんに親しまれてきた人口アイソタイプから立体棒グラフのデザインにしてみました。そして数表では、「石油製品販売量」「企業倒産状況」「卸売物価指数(全国)」「着工新設住宅」のデータを加えました。また、本県でも55年度から産業連関表の作成にとりかかることから、行政管理庁の光谷副統計審査官に「産業連関表」を3回シリーズで執筆していただくことにしました。

『統計いばらき』の編集方針である統計思想の普及誌、統計情報の速報誌、統計関係者の機関誌という性格は従来どおりですが、内容をさらに充実していきたいと考えています。今後とも、皆さんの御支援をお願いします。